翌六日首脳者を失つた羅芸團は
一層警戒を加へ今後に接近しと
紀念橋傍の旧栗泉医院の空家を羅
芸事務團本部に借受け、弁其他鋳
工部、木工部、電機部、仕立部等
と共に一大支部を設けて、傳令、
見張、炊事係等を設けし各支部と
の連絡を探る事としたが所轄署では
は羅芸事務團本部と云ふ張出
しが不穏当であるといふので撤去